

デジタル変革に関する調査業務  
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和3年5月18日

デジタル変革に関する調査業務委託プロポーザル審査委員会

## 1 募集及び選定

### (1) 募集及び選定の方法

本市が発注するデジタル変革に関する調査業務委託について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定するため、学識経験者2名、市職員7名（副市長及び業務に関連する担当部課長相当職）の計9名で構成するデジタル変革に関する調査業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置しました。

募集にあたっては、デジタル変革に関する調査業務公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）を定め、本事業への参加を希望する提案事業者を公募しました。

提案事業者から提出された企画提案書等については、実施要領及び要求水準書に基づき、事務局が資格要件の確認を行い、審査委員会が企画提案書等の内容を審査しました。提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーションを実施しました。

### (2) 募集の経過

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ① プロポーザル実施公告  | 令和3年4月 1日（木） |
| ② 参加表明書等の提出期限 | 令和3年4月21日（水） |
| ③ 質問書の提出期限    | 令和3年4月26日（月） |
| ④ 企画提案書の提出期限  | 令和3年5月 6日（木） |
| ⑤ 辞退届の提出期限    | 令和3年5月 6日（木） |

### (3) 審査委員会

#### ① 審査委員

審査委員会の構成は、次のとおりです。

・令和3年3月31日まで

職名	所属	役職	氏名
委員長	酒田市	副市長	矢口明子
委員長代理	酒田市	企画部長	宮崎和幸
委員	酒田市	健康福祉部子ども・家庭支援調整監	白畑真由美
	酒田市教育委員会	教育次長	齋藤一志
	酒田市	市長公室長	金野洋和
	酒田市	健康課健康主幹	菅原由香里
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	病院改革推進室長	池田恒弥
	元中学校長		加藤博之

・令和3年4月1日以降

職名	所属	役職	氏名
委員長	酒田市	副市長	矢口 明子
委員長代理	酒田市	企画部長	宮崎 和幸
委員	酒田市	総務部長	竹越 攻征
	酒田市	健康福祉部長	白畑 真由美
	酒田市教育委員会	教育次長	齋藤 一志
	酒田市	市長公室長	金野 洋和
	酒田市	健康課健康主幹	大谷 喜恵
	地方独立行政法人山形 県・酒田市病院機構 日本海総合病院	病院改革推進室長	池田 恒弥
	元中学校長		加藤 博之

## ② 審査委員会の開催経過

審査委員会は、次のとおり開催しました。

	開催日	議事
第1回	令和3年 3月29日(月)	(1) デジタル変革に関する調査業務公募型プロポーザル実施要領について ①実施要領の内容について ②要求水準書の内容について ③評価方法の考え方について ④評価基準の点数配分について (2) その他、設置目的を達成するために必要な事項について
第2回	令和3年 5月12日(水)	(1) 企画提案者による提案プレゼンテーション及び質疑応答 (2) 提案内容の審査及び評価並びに事業者の決定 (3) 講評 (4) その他

## 2 選定の結果

### (1) 応募状況

令和3年4月1日に実施要領等を公表し、令和3年4月21日の参加表明書等の提出期限までに2者から参加表明がありました。その後、令和3年5月6日の企画提案書の提出期限までに、1者から企画提案書が、1者から辞退届が提出されました。

## (2) 審査項目

### ① 資格要件の確認

提案事業者が資格要件を満たしていることを事務局（酒田市企画部情報企画課デジタル変革戦略室）が確認しました。

### ② 企画提案書等の内容に関する審査

提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、その結果を踏まえ、審査委員会にて企画提案書等の内容の審査及び評価を行いました。

## (3) 最優秀提案事業者及び次点者の選定結果

審査委員会は、提出された企画提案書等の内容を審査した結果、受託能力があるものと判断し、次の事業者を最優秀提案事業者に認定しました。

最優秀提案事業者 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東北

## (4) 企画提案に対する講評

### 【企画提案全体について】

- ・企画提案書の内容は、要求水準を満たしていると判断するが、調査内容については、十分な協議を行い実施すること。
- ・事業実施については、関係機関や関係者に十分な説明と配慮を行った上で実施すること。

### 【PHR活用による健康寿命延伸施策に関する調査への提案について】

- ・関係機関のデータ連携については、本市を拠点とした取組事例を踏まえて検討を進めること。
- ・検討会参加者の選定やスケジュール決定に当たっては、地元医療機関の新型コロナウイルス対応状況に配慮すること。

### 【教育の個別最適化施策に関する調査への提案について】

- ・教員の習熟度の違いが効果検証結果に影響すると考えられるため、学習ソフト導入校へのフォローアップを十分に行うこと。
- ・定量的な効果検証については、提案の手法による検証方法について審査委員会内で疑義もあったことから、事業実施に当たっては酒田市及び酒田市教育委員会と十分協議のうえ実施すること。

(5) 総 評

この度の事業者募集は、入札方式のように単に提案価格で事業者を選定するのではなく、豊富な経験と実績を持つ提案事業者から事業の実施手法について提案を募るため、公募型プロポーザル方式としました。

提案事業者からの提案には、様々な工夫やアイデア・ノウハウが盛り込まれており、非常に魅力的なものでありました。

提案事業者におかれましては、限られた時間の中、多大な労力と熱意をかけて魅力的な企画提案にご尽力いただいたこと、また、本審査委員会の円滑な進行にご協力いただいたことに対しまして、審査委員一同より敬意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

令和3年5月18日

デジタル変革に関する調査業務委託プロポーザル審査委員会委員長